

す、小枝多く葉繁りて生ず、その葉まゆみに似て細小也、霜後紅葉甚鮮紅にして愛すべきものなり、故に紅葉木と呼、諸木のうち此もみち甚遅く染るものなり、十月末より少しづ、色づき、十一月末紅葉鮮麗いふばかりなし、落葉は極月にいたる、其ながめ甚長し、春は早春より葉を生ず、全く葉なきは僅にふた月すぎざるものなり、

〔古今要覽稿草木〕さはだち

さはだち植樹家にて紫檀の木といふ、是またまゆみの一種にして、その葉長大深綠色にして、常盤木のごとし、霜後鮮麗に紅葉すること、にしきまゆみにまされり、花實はまゆみつりはなのごとし、

〔大和本草十^{カラス}一^{サシ}〕樗 此木世ニ知人マレナリ、葉ハヌルデニ似テ長大ナリ、臭シ、其樹節多ク、ユガミ

マガリテ材トナラズ、故ニ古書ニ惡木也ト云、小キ時多刺、長大ナレバ、無刺、此木日本ニ元來有之、京都ニアリ、又北州ニモアリト云、近年カラヨリ來レル香椿ニヨク似タリ、同類ナリ、花アリ、實アリ、烏コノンデ其實ヲハム、日本人樗ト椿トヲシラズシテ、先年朝鮮人來リシ時、二木イヅレノ木ゾト問シニ、朝鮮人モシラズシテ、アヤマリ僞テ佗ノ木ヲ樗ナリト答ヘシト云、樗ヲアフチト訓ズルハ誤ナリアフチハ棟^{セシ}ナリ、

〔採藥使記^中豆州〕重康曰、豆州三浦三崎ノ山中ヨリ樗木ヲ出ス、土人コレヲカラス山椒ト云フ、

光生按ズルニ、樗ヲ和邦ニテヲ、チト訓ズ、アヤマリナリ、樗ハ椿ノ一類ニテ、椿ヨリ枝曲折シテ生ズ、葉ニ惡シキ香アリ、畿内ニテキツ子ノチヤン袋ト云フ、

〔重修本草綱目啓蒙^{二十四}〕椿樗^略○中

- 樗 ^ゴン^ズイ^キツ子^ノチヤブ^クロ
- キ[○]泉州 ^ハゼ^ナ土州 ^クロ^ハゼ^同上
- ス[○]バ^メノ^チヤブ^クロ
- ダ[○]ン^ギナ^州 ^ハナ^ハ
- ム[○]メ^ボシ^ノキ
- タ[○]ン^キリ^同上
- ツ[○]ミ^クソ^ノ